

「アウトリーチ（訪問支援）研修」に係る研修計画書

【1. 機関・団体概要】

機関・団体名	浜松市精神保健福祉センター（浜松市ひきこもり地域支援センター）
機関・団体代表者 （役職・氏名）	所長 二宮 貴至
所在地	〒430-0929 浜松市中区中央一丁目12-1 県浜松総合庁舎4階
電話番号	053-457-2709
FAX番号	053-457-2645
メールアドレス 本研修担当者	sei-hokenc@city.hamamatsu.shizuoka.jp 担当者名：河合 龍紀
HPアドレス	http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp
研修実施場所（所在地と異なる場合のみ記載）	〒430-0901 浜松市中区曳馬二丁目8-19 NPO法人 遠州精神保健福祉をすすめる市民の会
設立目的（概要で可）	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第6条に基づき設置。 （国の「ひきこもり対策推進事業実施要領」に基づき設置。アウトリーチについては上記研修実施場所であるNPOに委託して実施）
職員数	全職員数 16名（常勤 2名 / 非常勤 4名）
機関・団体におけるアウトリーチの特徴や特色を記載	本市におけるひきこもり相談においては、一次相談を行政機関、訪問支援をNPOが行いケースの共有を図る官民協働での事業となっている。訪問支援を行うのは医療機関や福祉施設、教育委員会等での就業経験のある精神保健福祉士が中心。
機関・団体で運営している相談・支援機関名 例（●●サポートステーション） （●●ひきこもり地域支援センター）	浜松市ひきこもり地域支援センター（浜松市とNPO法人で協働） 地域若者サポートステーションはままつ（NPO法人遠州精神保健福祉をすすめる市民の会が受託）

【2. 平成26年度中のアウトリーチの実績概要】（訪問件数、対象、支援方法等を箇条書きで記載）

訪問件数（2月28日現在）：274件（その他、来所、外出同行、電話メール相談など 2,593件）

対 象 ：概ね中学卒業後～30代

支援方策：訪問による相談、対人関係作り、外出同行、（訪問ケースについて）家族相談、電話、メール相談、医療、福祉機関との連携

【3. 過去3年間における国又は地方公共団体の委託事業や自主事業等】

（委託事業・自主事業名等やその概要について箇条書きで記載）

【4. 過去2年間における子ども・若者の支援に係る研修実績】

（他機関・団体職員の研修受入を行った実施概要＜研修概要、他機関・団体名、期間、人数＞を箇条書きで記載）

内閣府「アウトリーチ研修（訪問支援）研修」に係る研修生受入

【平成24年度】 NPO法人職員1名 平成24年10月15日～10月26日

【平成25年度】 株式会社職員1名 平成25年10月21日～11月1日

【5. 「アウトリーチ（訪問支援）研修」に係る担当者、受入条件、研修内容等】

	「アウトリーチ研修」実施上の役割（職名）	氏 名	・ 関連保有資格 ・ アウトリーチの経験年数
1	訪問支援の指導員	大場 義貴	・ 精神保健福祉士、臨床心理士 ・ アウトリーチの経験 24年
2	訪問支援の指導員	加藤 寛盛	・ 精神保健福祉士 ・ アウトリーチの経験 11年

受 入 条 件	
受入可能な日程 (平成27年9月28日 ～ 平成27年1月16日の間)	① 10月 5日(月) ～ 10月 9日(金) 5日間 ② 11月16日(月) ～ 11月20日(金) 5日間 ①または②のいずれかをお願いします。
受入可能な人数 (原則年間4名を 上限とする)	2名
保有資格の要否、 その他の受入条件	特になし
研修期間中にアウトリーチを行う予定回数	2回以上

研 修 内 容	
	※下記の「初日」～「最終日」までの内容は過去に実施した実地研修を参考とした予定となり、同行訪問やプログラム等の参加・開催に併せて随時変更となります。
研修全体の概要	訪問支援への同行やフリースペースや地域若者サポートステーション等において、当事者のアプローチ方法や団体における連携、リファー等の取り組みを中心に研修を実施する。
初日	・ オリエンテーション ・ 受入団体の業務内容説明、等
2日目	・ 精神保健福祉センターでのミーティング参加 ・ ひきこもりケースの事例検討会に参加 ・ ひきこもりコミュニティースペースでの利用者対応

3日目	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問① ・訪問後、ケースについての振り返り ・ひきこもり当事者グループでの利用者対応
4日目	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問② ・訪問後、ケースについての振り返り ・地域若者サポートステーション事業について研修
最終日	<ul style="list-style-type: none"> ・実地研修の振り返り ・まとめ ・意見交換
研修内容の配分	講義 1 : 利用者対応 3 : 演習 3 : その他 3
研修生の宿泊について	
備考欄	動きやすい服装、靴、室内での運動靴を持参すること